

## 第二十七回

# 「壺の碑」全国俳句大会

令和二年十月十一日(日)多賀城市文化センター

特別選者 井上 康明

講演 飯田蛇笏・飯田龍太と俳句

【略歴】



一九五二年五月、山梨県生まれ。県立高校教諭を経て、山梨県立文学館に勤務し平成二四年退職。二十代から俳句を始め、飯田龍太に師事、「雲母」会員。「雲母」終刊後、平成五年、廣瀬直人主宰「白露」創刊に参加。「白露」終刊後、平成二十五年一月「郭公」創刊、主宰。著書に句集『四方』『峡谷』など。

「爰に至りて疑なき千歳の記念、今眼前に古人の心を閲す。行脚の一徳、存命の悦び、羈旅の劳をわすれて、泪も落るばかり也」（『おくのほそ道』より）

この壺の碑への芭蕉の感動に思いを馳せながら、東日本大震災の犠牲者への鎮魂の祈りを込めて第二十七回「壺の碑」全国俳句大会を開催いたします。特別選者には、俳誌「郭公」主宰井上康明先生をお迎えします。また、地元選者として、西山睦、成田一子各先生、それに今回より新たに高橋健文先生（塩竈市出身）をお迎えする予定です。実行委員長高野ムツオも選を務めます。皆様お誘い合わせの上、奮つてご応募ご参加下さいますようご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催の可否を含め内容が変更となる場合がございます。  
内容は多賀市のホームページと多賀城市観光協会のホームページでもご確認できます。

日時◆  
令和二年十月十一日(日)

午前十時～午後四時三十分

(俳句大会受付開始：午前九時三十分)

会場◆多賀城市文化センター小ホール  
(仙石線多賀城駅から徒歩七分)

主催◆「壺の碑」全国俳句大会実行委員会  
事務局  
宮城県多賀城市下馬三丁目七一一一三〇一  
TEL／FAX 023-1365-1049  
共催◆多賀城市・多賀城市教育委員会  
協賛◆多賀城市・七ヶ浜商工会、芸術銀  
河協賛事業

後援◆多賀城市観光協会

河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、tbc東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、エフエムベイエリア、宮城ケーブルテレビ株式会社、仙台・宮城観光キャラバン推進協議会  
協力◆(公財)上廣倫理財団